

# 自治連だより

～昭島市自治会連合会～



◇第5号◇ 発行：平成24年11月

## 平成24年度 自治連「地域懇談会」実施



平成24年度自治会連合会の地域懇談会が、11月12日(月)18時半～20時半、市役所の市民ホールで実施されました。

地域懇談会では、①野外掲示板の継続性のある補修・取り替えについて、②災害時の避難所運営について、③地域力・防災力向上の為、地域割りと組織体制について、④多摩川と玉川上水の歩行者安全の為の整備と市内道路の安全対策について、4つのテーマを取り上げました。昭島市から北川市長、両副市長、教育長、全部長出席いただき、自治連も小野会長以下自治連役員、ブロック長と自治会長の代表も参加し協議しました。詳細は1月発行の自治連会報にてお伝えします。また、テーマ以外の自治会からの質問20件は書面で回答となります。

## 自治連「防災研修会」開催

10月6日(土)9時半から、防災都市計画研究所の吉川忠寛所長を講師としてお迎えし、昭島市民会館大ホールにて、自治連主催の『2012 防災研修会』実施しました。

初めに自治会連合会の小野会長から「現在、自治連として“防災・減災”に力を入れています。震災後は“共助”となっていきますが、基本は“自助”です。自治連として東京都の補助金を活用して、加入促進&防災パンフレットを作成しました。このパンフは市内の自治会加入世帯と中学校、小学校の生徒にもお配りする予定です。各家庭で防災グッズを備えよう！のチェックリストを活用して、各家庭で3日以上以上の食料の備えをしていただきたい。」との挨拶がありました。次に、来賓を代表して北川昭島市長からも挨拶がありました。



………… テーマ『多摩直下地震に備える 自助・共助の課題』 ……………

副題「災害後の“生活継続”のために何をすべきか？」

- 1、初めに「一瞬の判断・動作が生死を分ける」
- 2、多摩直下地震における被害の連鎖
- 3、自主防災組織の活動と課題
- 4、災害時要援護者の先進事例
- 5、マンション防災と自助・共助の課題
- 6、おわりに「“生活継続”のための、共助の課題」

※講師から『自助を啓発する共助が大切！』等、多くのアドバイスがあり講演後、参加者と質疑応答して終了しました。



# 自治連・役員研修会を実施

毎年実施の役員研修会を10月24日(水)に『東京都廃棄物埋立処分場』の中央防波堤内側ごみ処理施設、及び『東京臨海広域防災公園』のそなエリア(防災体験学習施設)を視察しました。

■『東京都廃棄物埋立処分場』の中央防波堤内側ごみ処理施設“中防”(略称)は、東京23区から出されるごみを最終的に埋立てる、埋立処分場です。中防は、内側埋立地(埋立完了)、外側処分場(埋立中)、及び新海面処分場(埋立中)で構成されていました。

初めに“中防合同庁舎”で説明を受け、敷地内は広いため、バスで各施設の見学を受け、最後に敷地内の、風力発電施設の風車「東京風ぐるま」を視察しました。



■『東京臨海広域防災公園』のそなエリア(防災体験学習施設)は、“もしここで大地震が起きたら”と“72時間、どう生き残るか?”の体験ツアーでした。

首都直下型地震の発生から避難までを、任天堂DSを使ってクイズに答えながら、地震発生後の72時間を生き抜く知恵を学ぶツアーを体験し、つぎに、震災アニメを見ました。その後、世界の防災用品や各種防災ゲームが展示されている「防災ギャラリー」を視察しましたが、これまで以上の防災に関する知識を習得することができました。

# 地域づくり交流会議を開催しています

今年度、市内の各種団体の皆様と防災を中心に、地域の活性化と問題意識の共有をめざして、地域づくり交流会議を開催しています。

【開催済団体名】7/26 昭島市老人クラブ連合会、7/28 昭島市民生委員・児童委員協議会、9/26 昭島市公立小学校校長会、10/18 昭島市消防団、10/22 昭島市公立中学校校長会



# 加入促進&防災パンフレットを各世帯に配布

自治連として左の写真のパンフレットを、東京都の地域の底力再生事業助成金を活用し作成しました。

10月から自治会加入世帯と加入促進用に配布しています。市内の小・中学校の皆様にも届けました。

裏面の“防災グッズを備えよう!”で、0次の備え(いつも携帯)、1次の備え(非常持出品)、2次の備え(安心ストック)のチェックリストになっていますので、活用ください。



▲各家庭で3日分以上の食料を備蓄しましょう!